

早春講座

受講生募集案内



講座名：『常陸国風土記』と古代の茨城

講師： 久信田 喜一（茨城地方史研究会会長）

曜日： 木曜日

時間： 10:00～12:00

回数：5回

受講料： 3,000円

定員：50名

【講座内容】

茨城県は、古代史の宝庫と言っても過言ではありません。その宝庫の扉を開く鍵の一つが「常陸国風土記」です。

和銅6年(713)のいわゆる風土記撰推の詔(みことのり)によって日本全国で編纂されたはずの風土記ですが、この時に編纂された風土記が現存しているのは5か国しかなく、幸い常陸国はその5か国のうちの一つなのです。従って「常陸国風土記」を読めば古代茨城の様子がよくわかんと言ったことができます。

本講座では、「常陸国風土記」の内容を紹介しながら、古代の茨城の歴史を明らかにしていきます。

※後期県民大学講座「『常陸国風土記』と古代の茨城」の内容を抜粋したものです。

第1回 2/4 『常陸国風土記』を読む①
—総記・新治郡—

第2回 2/18 『常陸国風土記』を読む②
—筑波郡—

第3回 2/25 『常陸国風土記』を読む③
—信太郡・茨城郡—

第4回 3/4 『常陸国風土記』を読む④
—行方郡—

第5回 3/11 『常陸国風土記』を読む⑤
—香島郡—